



## 環境循環型エンジニアリング企業 ”完全循環型リサイクルシステム”

株式会社スタイロジャパン  
代表取締役 真辺 久始

株式会社スタイロジャパンは1995年5月環境循環型エンジニアリング企業として起業した若い企業です。

“地球の未来へ私たちが出来る事を考え続ける企業でありたい”を経営理念として、廃プラスチックの完全循環型リサイクルを通じ、次世代の環境と文化を創造していく所存です。

幸いにして国は“循環型社会基本法”を制定し、国としての方針転換を宣言しました。循環型社会基本法の制定によって、廃棄物リサイクルや環境保全などの循環に関連する政策が強力に推進されると期待が高まっております。実際に2000年4月に制定された容器包装リサイクル法はプラスチック製包装容器のリサイクルについて、次のように位置づけています。

1. マテリアル・リサイクル（使われたプラスチック製品を再びプラスチックの原料に戻す）が、リサイクル方法の最高の方法であること。
2. 熱エネルギー利用等のサーマル・リサイクルは、リサイクル方法の補完的役目を果たすものであること。

株式会社スタイロジャパンは、全国に28の代理店を持ち、まさにマテリアル・リサイクルを行っているプラスチック製造業です。

平成13年3月、国の新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）は、使用済み発泡スチ

ロールの完全循環型リサイクル技術を実用化する鹿児島県工業技術センター・鹿児島大学・株式会社スタイロジャパンをはじめとした県内企業8社の共同研究を即効型地域新生コンソーシアム研究事業（NEDO）の一つに決定しました。

この事業は、地域の産学官の研究共同体（コンソーシアム）を支援し、研究開発能力と産業実績を利用して即効性のある地域の新規産業の創出を図るのが目的であります。

開発費助成額は1事業あたり1億円。全国から152件の応募があり、IT（情報技術）枠で15件、一般枠で11件が事業採択されました。

鹿工技センターの研究開発プロジェクトは、一般枠で唯一のリサイクル分野となっております。事業の計画では半年で実証プラントを立ち上げ、一年で実用化の目途をつけることとしています。実証プラントはスタイロジャパン加世田工場内に設置する予定です。

このプラントが完成すれば、発泡スチロールから粒状の発泡性ビーズにすることを可能にするるとともに、成型すれば発泡スチロールが出来上がるという世界ではじめての新技术となるものと確信しております。

株式会社スタイロジャパンは、完全循環型リサイクルを目指して、たゆまぬ研究開発に取り組み、地球社会のために努力を重ねて参ります。



本社社屋



スタイロシステム加世田プラザ